



#### hikari no café 蜂巣小珈琲店について I

- ①なぜ旧蜂巣小学校を利用しようと思ったのか。なぜその地域だったのか。

- 趣のある<mark>木造校舎・広がる田園風景の魅力にひかれた</mark> 障がい者の「<mark>学びの場</mark>」のカフェとして最適な場所。 一般の方が障がい者への壁を無くしていける場所になればと思った。
- ②木造校舎のリノベーション・・・第28回マロニエ建築優良賞受賞
- point 1 insert(新しい息吹を)
  - 太陽の光をいっぱいに取り込んだ明るく開かれたデザイン。
- 一部天井を落とし、吹き抜けの開放的な空間に時代の刻まれた小屋 組みを現し、明るく趣のある空間。

- point 2 refine(思い出をつないで) 随所に学校の時代から使われていたものを再利用している。 教室のサインや黒板、ゆがみのある硝子、校長先生の机など
- 思い出の沁み込んだ物たちを新しい空間に馴染ませた。
- Point 3 harmony(なつかしい匂い)
- テーブルやイス、照明器具は「レトロモダン」というコンセプトで選んだ





#### hikari no café 蜂巣小珈琲店の取り組み I

#### <障がい者就労支援>

一般の企業につとめることが難しい障がいを持った方に対し、就労の機会および生産活動(利用者にとっての「仕事」のことです)の機会の提供、その他、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う事業です。

●A型 : 法人と雇用契約を結び、給料をもらい、働きながら一般就労を目指します。カフェでの接 客業務・厨房での調理補助業務を行います。

(これまでに2名就職。現在23名利用。平均賃金:約70,000円) ●B型 : 通所して生産活動を行い工賃をもらいながら利用します。

B型事業ご利用の方は焼き菓子(ケーキ・スコーン・パンなど)の製造販売業務を行います。 (A型へ1名異動。1名就職。現在15名利用。平均工賃:約26,000円)

●就労移行支援:生産活動を行ないながら一般就労への就職を目指します。(現在2名利用) 〈苦労したこと、それをどう乗り越えてきたのか〉

- 利用者に出来るだけ多くの賃金や工賃を払うため、たくさんのお客様に来て頂き、売り 上げをあげなければならなかった。
- 職員は利用者の支援をしながら、売り上げをあげていくための工夫をし、取材をたくさ ん受け入れてPRした。
- 利用者の成長やお客様の温かい声に励まされ、大変な時期を乗り越えてきた。



アフォガードプリン かわいいカプチーノ











## hikari no café 蜂巣小珈琲店の取り組みⅡ

<廃校利用> 地域資源・地域の拠点として大切にしたい!

<卒業生の帰ってこれる場所づくり> 蜂巣小の思い出館 タイムカプセルの掘りおこし 同級会











←昭和38年卒業生 80歳の恩師の伴奏で校歌を 声高らかにうたいました。

↓昭和21年入学・26年卒業生



## hikari no café 蜂巣小珈琲店の取り組み Ⅲ

## <地域貢献>

ギャラリー・体育館・音楽室・家庭科室・校庭の無料開放

- ・ギャラリー:地域の方・芸術家などに絵画・彫刻・写真などを展示する機会を提供 (来年度まで予約済み)
- ・体 育 館:レクレーション・コンサート・サークルなどの活動・発表の機会の提供
- ・音 楽 室:講習会・音楽教室の発表会などの場所の提供(10月より休憩室) ・校 庭:消防団の訓練・地域の運動会・ゲートボールなどの場所の提供
- ・家庭科室:ワークショップなどの利用に提供(10月よりスイーツエ房に)

## hikari no café 蜂巣小珈琲店の取り組みⅣ

# <地域との交流>

- > 餅つき会(新年会)
- > レクリエーション交流
- > わらぼっちづくり
- > グランドゴルフ
- > 新聞発行・回覧板等で配布
- ▶ 地元の「豊年まつり」に参加
- ▶ 敬老会に招待される











## hikari no café 蜂巣小珈琲店の取り組み V <地域活性>お客様が絶えないカフェづくり





毎年1000人を超えるお客様 が足を運んでくださり大盛況。





# 廃校活用に関する考え方

- ▶ビジョンをしっかり持つ。(目的を明確にする)
- ▶母校に対する皆さまの思いを大切にする。
- ▶地域の方たちと<u>思いを共有</u>する。
- ▶地域が喜ぶことを常に考える。
- ▶校舎が喜ぶことを常に考える
- ▶お客様が喜ぶことを常に考える。
- >スタッフが喜ぶことを常に考える。
- 凌協力者をたくさん作る。

廃校になった小学校は 行列のできる珈琲店に 生まれ変わり 地域と働く人を 輝かせるようになりました。